

所属・氏名（保健医療学部 診療放射線学科 氏名：笛吹 修治）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (学術論文) Influence of magnesium chloride on the dose response of polyacrylamide-type gel dosimeters	共著	2018	Radiological Physics and Technology, 11(4), 375-381	PAGAT 系三次元ゲル線量計における塩化マグネシウムの線量応答に対する添加効果を調べた結果、非常に高い増感作用を示すことを明らかにした。 (総ページ数:5 頁) (S. Hayashi, H. Kawamura, S. Usui, T. Tominaga) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
2 (解説) MRI によるゲル線量計の吸収線量評価	単著	2017	医学物理, 37(2), 107-110	三次元線量計として注目されているゲル線量計の磁気共鳴診断装置による線量評価の基礎原理から測定方法、注意点などを解説した。 (総ページ数:4 頁) (笛吹修治)
3 (解説) 色素ゲル線量計	単著	2017	医学物理, 37(2), 95-98	三次元線量計の一つとして放射線感受性色素を用いた様々な線量計についてその特徴や問題点などについて解説した。 (総ページ数:4 頁) (笛吹修治)
4 (学術論文) 乳房MR3D造影撮像におけるスライス厚が微細病変検出能に与える影響-ファントム実験による基礎的検討-	共著	2016	日本磁気共鳴医学会雑誌, 36(4), 110-117	造影 MRI を用いた乳癌の検出を目的として、乳腺構造の検出能に対するスライス厚と造影剤濃度との関係を自作ファントムを用いて明らかにした。 (総ページ数:8 頁) (畑 香里、北村茂三、長谷川俊輔、伊藤充矢、笛吹修治、廣川 裕) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)
5 (解説) ガドリニウム造影剤による緩和機構	単著	2016	日 獨 医 報 , 61(1), 119-126	磁気共鳴現象におけるガドリニウム造影剤による緩和機構について、造影剤の構造と双極子-双極子相互作用を中心に解説した。 (総ページ数:8 頁) (笛吹修治)
6 (学術論文) Inclusion type radiochromic gel dosimeter for three dimensional dose verification. 《筆頭論文》	共著	2015	Journal of Physics: Conference Series, 573, 012035	放射線の三次元的な吸収線量を評価するため包摂型の放射線感受性色素ゲル線量計を開発し、その放射線応答性について調べた。増感剤としてプロモ化合物およびマンガンイオンが有効であることを明らかにした。 (総ページ数:4 頁) (S. Usui, M. Yoshioka, S. Hayashi, T. Tominaga) (放射線照射部分を除き全般を担当)
7 (学術論文) Preliminary study of MAGAT polymer gel dosimetry for boron-neutron capture therapy.	共著	2015	Journal of Physics: Conference Series, 573, 012074	MAGAT 系ポリマーゲル線量計を用いて中性子線の線量評価を行い、ホウ素中性子捕獲療法における線量測定に利用できる可能性を示した。 (総ページ数:4 頁) (S. Hayashi, Y. Sakurai, R. Uchida, M. Suzuki, S. Usui, T. Tominaga) (共同研究につき本人担当部分抽出不可能)